シェアハウスのカヲシン2

EVANGELION FANBOOK NO.5 KAWORUSHINJI

~ I Left You ~

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

あっ
その鍋はこっちの洗剤で洗った方がいいかも
ん、わかった
かちゃ
かちゃ
ごめんね手伝ってもらっちゃって…
…別にいいよ

君、今は学校行ってるんでしょ
それなら家事は僕達二人で分担してやろ
…その方が
早いだろうし

……うん
ありがとう

ただいまシンジ君
ガサ
ガサ
あ！
おかえりカヲルく
んっ
ちゅっ

ちゅっ
んん～っ！ちゅっ
無心。
んっ……ちょっ…カヲルく…っ！
ちゅっ
っっっ
ちゅっ
ちゅっ
お・か・え・り・は？

!?
近いよ!!
何その反応!
傷つくなぁ~
ぺち
ちゃっ
僕だっておかえりのチューほしい
誰がするか!
寝言は寝て言え!
ちょっ!! 洗剤やめて!!
目がっ目がぁぁぁッ!!
ぎゃぎゃぎゃ
オロ…
も~何だよ! 「好き」な人にキスねだる事の
ごく
じっだぁ~っ
何がいけないって言うのさ…!?
……ッ
ぷくっ

ぽんっ

…ねぇ
もしかして

最近何か
あったの？

ぴた

渚君の
スキンシップが
エスカレート
しているような
気はするけど…

君…前までは
そこまで嫌がって
なかったよね…？

スキンシップとか
そういうのじゃ
なくて

…あんな事
言う奴じゃ
なかったんだ

あんな事…？

渚は何も
わかって
ないのに

僕のことも

自分の事も……

シェアハウスのカヲシン2 ～I Left You～

前回の本「シェアハウスのカヲシン ～Dear Love～」の内容を踏まえた
人物紹介と読んでおくとわかりやすい設定

漫画版（貞元版）
カヲルとシンジ
本作のメインカップリング

何で僕の事否定するの ♡？

何もわかってないくせに …♡？

呼称：シンジ君（貞）
3人全員苦手でありぶっきら棒であったが庵シンジの影響で次第に丸くなってきた模様（頭部ではない）
渚の変化についていけず疑心を抱いている。

呼称:渚君
相変わらず貞シンジの事が好き。
最近何らかの影響なのかシンジへのアプローチが激しくなった。

少し君の事わかってきたよ

勇気をもちなよ

（やはり）話しかけないでほしい

君は変わったね

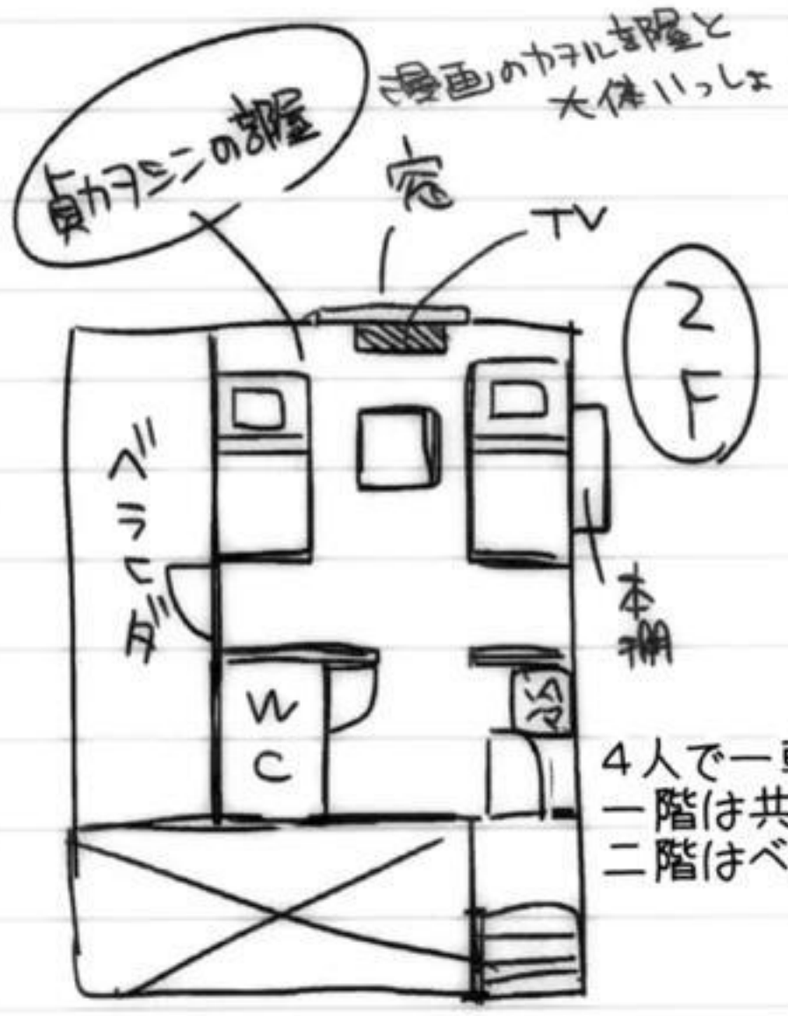
互いに影響し合っている
よく一緒にいるようになった

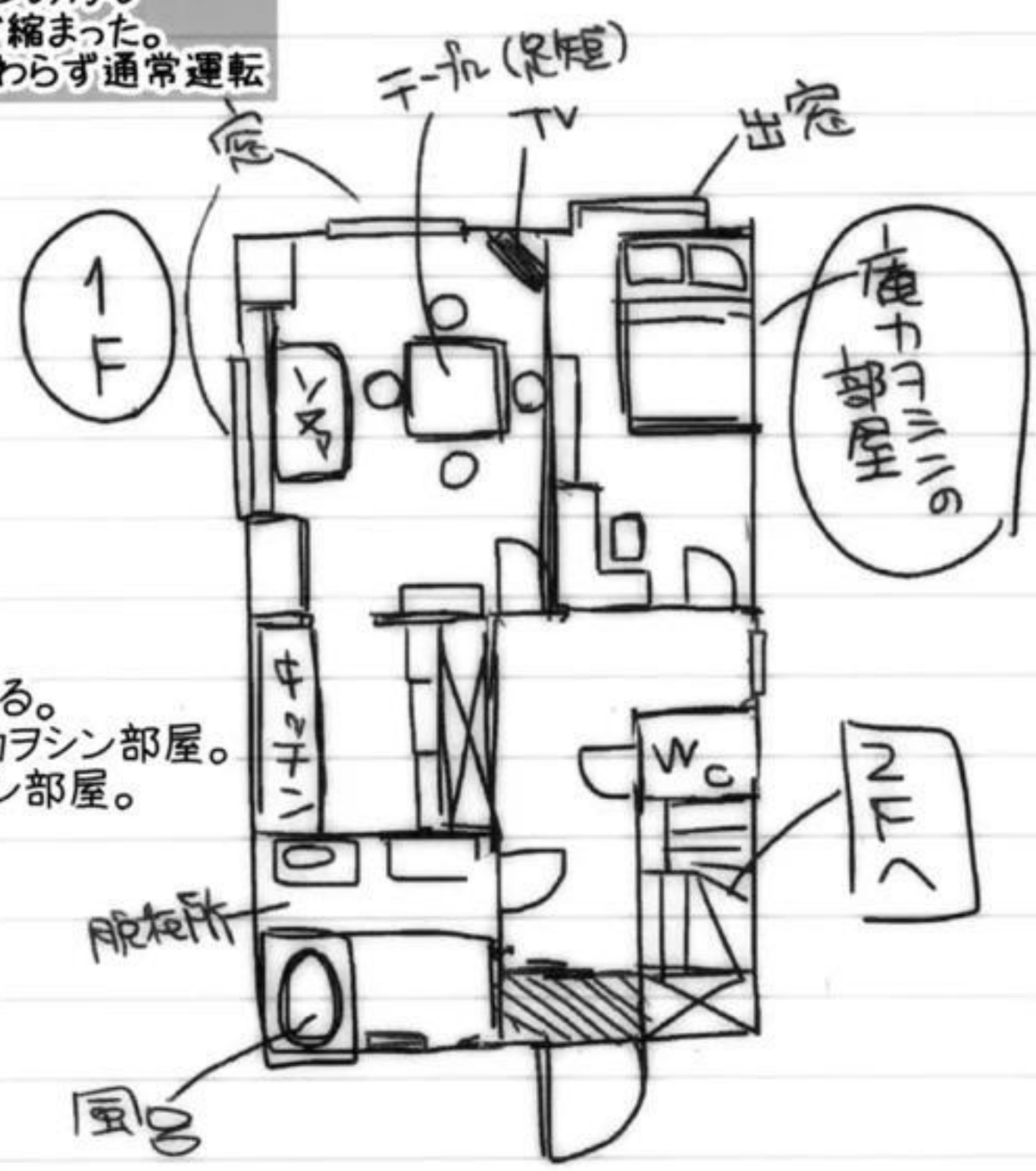
互いに興味はないが
動向を追うようになった

呼称：シンジ君（庵）
学校にもちゃんと通うようになり
カヲル中心に回っていた世界だった
時より周りが見えるようになった。
最近は気持ちに正直になり
前向きになりつつある模様

呼称：カヲル君
何かと達観しており相変わらず
ミステリアスだが大体シンジ（庵）
の事を考えている。
以前よりはコミュニケーションが
しやすくなった（渚談）

アニメ版(庵野版)
カヲルとシンジ
気持ちがすれ違っていたが
貞カヲシンの力も
あり距離が縮まった。
イチャイチャは変わらず通常運転





4人で一軒家に暮らしている。
一階は共同スペース&庵カヲシン部屋。
二階はベランダと貞カヲシン部屋。

細かいことは
気にしちゃいけない
見取図 というか自分のメモ…。

ねえシンジ君

僕とセックスしてみない？

シンジ君は初めて誘った時から

……いいよ

エッチを拒んだ事がない

あは

今日もすごいや シンジ君

はっ……

どこもかしこも

ねえ何で嫌がらないの

むにっ

ぐぽっ

ぐぷ

ぴく

びくっ

とろとろだ

ぎゅっ

トロ…

ぴく

ぴく

あっ…

ず

る

僕の事本当はどう思ってるの

びくんっ

かぷ

んん……っ

びく

いつもどんな事考えてるの

なぎさ…っ
はぁっ
はぁっ
も……いいから……っ
じゃあコレ
自分でいれてみて？
ぬるっ
ぬるっ
びくんっ
んっ…！
君の本心は
ぶるんっ
あっ…！
びくっ
どこにあるの
びくっ
僕は君に会った時から
ぎしっ
ぎしっ
ぎしっ
あっ
あっ
あっ
君の事しか考えてないのに…っ
……っ
僕の事が嫌いな訳ではないの？
ぴくっ
ぴくっ
ぐすっ
ぐすっ

ねえ君
これ
落としたよ
すみません
有難うございます
いえいえ
これ楽譜だよね？
君も何か楽器弾くの？
へー…かわいい女の子みたい
えっ…いや…僕のじゃないんです
僕の知人がチェロやってててそれで…
何で目合わせないんだ？
興味は…あるんですけどね

じゃあ今度放課後音楽室に来ない？

こっち見てよ

え…

僕たまにピアノ弾いてるんだ一緒に連弾とかしようよ

何で僕を見ないんだよ

いつもは人入れないようにしてるけど君だけ特別

僕はっここにいるのに

そんな…何で…

僕は…

まあまあまあそう固くならないで

もっとちゃんと顔みせてよ

新しい事を始めるのも大事な事だろ？

……

あ

……じゃあ

ドタ

…今度
気が向いたら

その時僕の世界は180度変わった

行かせて下さい

何…これ

これが
人間(リリン)の感情…？

知りたい

もっと
人間の事

君の事

…ねえ
カヲル君

ん？

どうかしたのかい シンジ君

もう眠いのなら先に寝ていてもいいんだよ

いや僕はカヲル君と一緒に…

じゃなくて！

……？

カヲル君は…その…どう思ってるのかなって…

うん…？

……あいや……っ

ごめんやっぱ何でもな…

彼らの事かい？

！

うん……

最近変だし何かあったのかなってちょっと心配になったんだ

…僕が出来る事なんて

どうせ何もないんだろうけど……

キュッ

君は本当に変わったね シンジ君

変化を求めず他者との関わりを拒んでいた君が
今
ぎゅっ
他者を見て
考え
悩んでいる
少し妬けてしまうよ
なっ！
かぁぁぁっ
何言ってるのカヲル君…！
それでもこの変化は喜ばしいものだと思う
そう…なのかな
僕
変われたのかな
自分ではよくわからないけど変われたのなら
きっと
カヲル君と
あの二人のおかげだと思う

そうだね…

ぎゅっ

彼らにも変化すべき時が来たのかもしれない

僕達に変化が必要だったように

ぎゅっ

変化……

……僕にも何か出来る事あるかな

ぽーん

気張らなくていいんだよ

するっ

君はただいつも通りにしていればいい

んっ♡

縁が君を導くだろう

シンジ君…

シンジ君シンジ君…っ

はぁっ

なぎさぁ…

もう…

我慢できな…っ

ぐちゃ

ぐちゃっ

シンジ君シンジ君シンジ君……ッ

ぐちっ

はっ

はっ

ぐちゃ

ぐちゃっ

シンジ君
シンジ君
シンジ君

はっ。

ぐちっ

ぐちっ

ぐちっ

はぁっ。

シンジ君
シンジ君
シンジ君
シンジ君…ッ

ッ！

……っ

渚くーん！
いるー？

!!!!

はいはい
ここにいるよ

びっくりした…

わっごめん
トイレ中
だったんだね…！

何か
用だった？

あっうん

ちょっと買い物
行って来るから

お風呂掃除
しておいて
もらえるかな？

あいよ～

何か…

有難う

じゃあ行って来るね

前より自慰の回数増えてる気がするなぁ

…そういえば

昨日お風呂最後に入ったのシンジ君だ

ピチャ

ピチャ

ワウッ

渚ッ!!

うわぁ!?

わっ!!

シンジ君…!

とっ突然出て来ないでよ…っ!

ちょっ

ばかッ…!

こっち向けるな!!

てゆかいつの間に帰ってた

の…

…っ今だよ…

それより僕の数学ノートどこにやったんだよ

うわー…びしょびしょだ…

君に貸したままなんだけ

どっ…

!?

ガーン

わっ

ちょっ

ドサッ

ッ!!

ガチ

いた

ばた

ぐぐ。

ガタッ

いっ……！何すんだよっ！

渚…ッ!!

!?

じーっ

やっ…!!

やっめろ…って！
渚…ッ
ぐぐっ…
ぐいっ
がたっ
なに突然盛って……っ
がたっ
さっきまで君でヌいてた
突然じゃないよ
!?
そ…んな事言われたって
ごめんもう止まんない
はあ…
ちょっ…
ぴくっ
ぐっ
ぐっ
ぐ

それってさ

ぐにゅっ

僕の事「好き」なんじゃないの？

びくっ

君、いつも何だかんだで僕の事拒まないじゃないか

ぷくんっ

……っ！

ぶる

ぶる

ぬぷっ

ぬっ

ぐりっ

ぐりっ

僕も君を「好き」で「愛してる」から

僕達両想いでいいんだよね？

ッ!!

ドガッ

な…っ

どけよ

やめないって言っ…

どけって言ってるだろ

ぐくっ

……っ

何さ…いつもはそんなに嫌がらないだろ

……渚

僕に好きって

言わないで

……は？

渚は何もわかってない

その言葉の意味も

重さも……何も

……それぐらいわかってるよ！

他人を意識し気にする事…人間の感情だ

僕はもっと君の事知りたいんだよ！

それがわかってないって言ってるんだよッ！

「あの二人の変化を間近で見て
それに影響されて
知った気でいるだけだ

…君は何を言ってるの

……そんなの
まるで僕がシンジ君を…

「好き」じゃないみたいじゃないか

…じゃあ

君は本当に

僕を好きだって…愛してるって自信があるの？

…あれ

嘘でしょ

ねぇ

声が

言葉が

出ない

僕は本当にシンジ君を「好き」なのか？　「愛している」のか？

ちがう

ちがう

何も知らないのは　僕の方だったのか？

……バカ渚

……っ

……楽しい？

僕に
こんな事まで
言わせて…

…楽しくない

全然
楽しくないよ
シンジ君…っ

ただいま～

……？

渚くーん？

部屋にい…

僕はこっち
…あと部屋には
行かないで

あっなんだいるじゃないか！

ホットケーキミックス買って来たから焼いてみんなで食べようよ

……

…ねえ君はさ

ぴたっ

あいつを「好き」なんだよね？

僕は
カヲル君が
好きだって

君が…
渚君が気づかせて
くれたんじゃないか

……僕は
何もしてないよ

そんな…
君の言葉で僕は

じゃあ

僕に「好き」って
何なのか

「愛」って
何なのか
教えてよ

ぎっ

人が人を
「好き」になるって
どんな感じなの？

ぐっ

もしも君が
アイツじゃ
なくて

僕を「好き」に
なっていたら
どんな気分
だったんだろう

がくっ

そしたら僕は
君を…誰かを
「好き」に
なれたのかな

もう僕には
わかんないよ…っ

ガくっ

どうして…っ

どうして
シンジ君は

……っ

僕を
愛して
くれないの…！

どうして
愛されてない
思うの？

どうして僕を
否定するの…っ！

…僕はね

ずっと君たちが
羨ましかった

だって…っ！

君達には言葉なんてなくたって

僕とカヲル君には無いものを持っているから

君達みたいになれたらいいなって

今でも思ってる

渚君はもっと自信持って大丈夫だよ

自信って何

何も

わかってないのに

渚君…っ!?

ガッ

ガッ

っと…
心配いらないよ
シンジ君

彼には少し
眠ってもらった
だけだから

びくっ

ガヲル君!?
いつの間に
帰って来てたの!?

がくんっ

今さ
気がつかな
かったかい?

眠るっていうか
突然倒れたみたい
なんだけど…!

ばや…

大丈夫だから
シンジ君

く……そ…

でも…っ

ぃぃっ

ぃ!

人間(リリン)は面白い

怒って
笑って
また怒って

もっと見たい
もっと知りたい

でも「好き」って
何なんだろう

僕の感情(これ)は
何なんだろう

これが
好きって事
なんじゃないの?

違うの?

人間への
興味が尽きない

……いや

はっ

……

やっと
お目覚めの
ようだね

しれっ

あ、そのブランケットはシンジ君が掛けてくれたよ シンジ君は優し…

君いい加減に僕を使徒の力使って攻撃すんのやめろよ!!

ATF(フィールド)を使わない君が悪いよ

隙を突いた癖によく言うよ…!!

…あっ

使徒とか言っちゃっ…

大丈夫 二人ならもう部屋に行っているからね

かちゃ

……まぁ彼については

一歩も部屋から出てきていないのだけれど

……

…以前君は

やつあたりをやめてくれと僕に言っていたよね

君らしくもない

君はもっと直感的に動くタイプだったと思うけど？

その言葉そのまま返させてもらうよ

うるさい…君のその何でもお見通しみたいな態度

嫌いだ

くるっ

それは光栄の極みだ

でも君は知るべきだ

僕達の存在理由…

否定されたのなら肯定すればいい

いや…肯定しなければならない

僕達はその為に今ここにいるのだろう

シンジ君を肯定してあげられるのは
彼ら
この世界ではきっと僕らしかいないよ
シンジ君……っ

シンジ君!!
ッ!?
渚…!?
何で先に登校しちゃってんのさっ!
ガバッ
2年A組
あれって3年の渚先輩じゃない?
ひそ
だよねだよね!やっぱちょっかっこいい!
ひそ
でもぉ碇君と同棲してるって噂…!
ひそ
えっうそ~っていうか同棲って!やだ~!
ひそ
シンジ君話があるんだ
ちょっと来てよ
ぱしっ
やめ…っ
がたっ
だめ
もう絶対逃がさない
ッ!!

ちょっ離せよ！何すんだよ渚！

いいから来て！

ガたーんっ

ざわ

ざわ

何勝手な事…ッ！

そんなのどうでもいい！

さぼる！

何言って…

もうすぐ一限始まるよ…！

だって僕もうシンジ君のこと以外

どうでもいいって気づいたんだ

っ

渚……っ

まっ…待って…！

ぐい

ぐい

おい…っ！

待てって！

言ってるだろ！

ったく…どこまで行くつもりだよ…！

ぜぇ

こんな所まで連れてきて…！

ぜぇ

……えっ

……あ

…わかんない

考えてなかった……

ハア…!?

だって僕…っ
シンジ君の事しか
考えてなかったから…

とにかく
シンジ君に
言いたい事が
あってそれで…っ

……ブッ

なっ

何笑って

ふっ

もう……

何だよ

ふる

それ…っ

もうやだ…っ

ほんと

君は
ばかだな…っ

ねえシンジ君

どんだけ僕を
振り回せば
気が済むんだよ…っ

……っうん…

まだ
間に合うなら

僕の言葉を聞いて

……うん…っ

そうなんだ…
僕…っ
ばかでごめん…っ

でも…っ

僕

本当に

シンジ君の事が好きなんだ…っ！

君がいい！

君じゃなきゃ駄目なんだ…！

僕バカだから同じ事しか言えないけど

僕の気持ちは今度こそ本物だから…っ

君が否定するのなら

それより前に好きだって

愛してるんだって

君に言ってやる…！

何度でも…

何度でも…っ！

渚…
好き！
なぎ
好きだ!!

いや…ちょ
好きなんだシンジ君!!
おいっ
愛してるんだシンジ君!!
だって…ちゃんと聞いてほしいんだ…！
ドゴオ
うっさい!!
アダムスッ
ッ！
君に認めてもらいたいんだ…っ！

僕から逃げないで

シンジ君

……っ

…知ってるよ

…全部ぜんぶ……

だって…

僕はずっと君を見ていたから……

君が僕を知るずっと前から

出会いだって
わざとだよ
僕がわざと
楽譜を
落としたんだ
君の興味を
惹きたくて
君が僕を
興味の対象
でしか見て
いなかった
事も知ってる
それを好意と
錯覚してた事も
知ってる
…でも
拒めなかった
拒みたかったのに、
僕は君が
……好きだから
……でも
もう
いいの…？
君を…
渚を
信じても
いいの？

うん…

じゃ

うんっ…

もちろんだよ

シンジ君…っ

…じゃあ

僕が君を想うよりもっと

僕を愛してみせてよ

渚

ああ　僕はなんてひとに

恋をしてしまったんだろう

……ッ

どうしよう シンジ君…っ

苦しいよ…っ

なまあったかくて

ドロッとしてて

気持ち悪くて

ゆっくり胸を締め付けてくるんだ…っ

そうだよ

苦しいんだよ

もっと思い知れ

バーーーーカ

何だよこれ

何なんだよ

苦しい

重たい

ちゅ

なぎ…っ

んッ！

ふ……っ

ん、ぁ…っ

でも

もっと

心地いい

もっと君の事教えて

それでは

いただきます！

いただきます！

久しぶりにみんな揃って朝ごはんだね

そうだね…最近生徒会の仕事で早めに僕が家を出ていたから…

すまないシンジ君寂しい思いをさせてしまって…

でもも暫くは平気だからね

もぐ

もぐ

いっ…いやいいんだよ！生徒会長なんだもの

ごく

ごく

しょうがないよ……

さっ…寂しかったけど…

…それに

そっちの二人は最近色々あったみたいで

食事も登校もばらばらだったしね

ぎくっ

ふんっ

ブフォッ

別に僕らがいなくても寂しくなんかないだろ君達

ベッ

それと

もう君達だけに

Ch

ゅ♡

イチャイチャさせないから

ばか渚！

ばしぃっ

ぎゃ

いたっ!! 何だよ!? 暴力反対！

ぎゃ

おや

今日からまた騒がしくなりそうだ

…そうだね

でも

これがシェアハウスだから！

おしまい。

愛するより愛されたい、というちょっとわがままだけど男前受けシンジ君が描きたかったのでそう描けてたらいいなと思います。
シリーズ通して庵組と貞組が互いの関係性を見て、影響しあい4人が成長していく話を描いたつもりなのですが
庵カヲと貞シンがどう頑張っても仲良くならなくて困りました。でも貞シンが庵カヲの事が苦手というシチュが私的に萌えだと
気づいたので、もうこのままでいいかなと思います。4人ってすごいね。

シェアハウスシリーズ前作からの方もこの本単品の方もここまでお付き合い頂き有難うございました。
まだ描ききれなかった設定や話があるので、またどこかで描けたらいいな。

シンジ君のブリーフむしゃむしゃ

2013/5/4 KaitouB/Chito.Yuduki http://kbkb.sakura.ne.jp/ chito-kbkb@woody.ocn.ne.jp
Print:Nishimuratoushadou 禁:無断転載・複製、ネットオークション等での売買